
新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

第3報 (令和2年5月6日付)

5月3日に、入院患者様の新型コロナウイルス感染症について第1報を掲載致しました。

その後の経過をお知らせします。当該患者様はただちに適切な場所へ移動し現在も加療中です。同時に周南環境保健所の指導のもと、濃厚接触者と思われる入院患者様、及び職員について調査及びPCR検査を行ってきました。

調査中、別の患者様(4/22 退院)1名が陽性であることが判明しました。その方は、無症状ですが、すでに適切な場所へ入院済みです。

2名のPCR陽性患者様以外でPCR検査が必要とされた入院患者様と職員のPCR検査はすべて陰性でした。

すでに関連部署の除染処置は終了しております。また、当該患者様と何らかの接触のあった職員は念のため、自宅待機をしており、慎重に健康観察中ですが感染の兆候はありません。従いまして、現時点でこれ以上の感染拡大はないと考えられるため5月7日からの診療は通常通りとさせていただきます。

入院中、入院予定の患者様やご家族の皆様、ならびに関係者の皆様には多大なご心配をおかけいたしました。またご協力に感謝致します。

この新型コロナウイルス禍に対し、当院は今後も最大限の感染予防策を講じつつ、救急医療、専門医療が後退することのないように職員一丸となって努力してまいりますので、どうぞご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

令和2年5月6日
独立行政法人地域医療機能推進機構
徳山中央病院 院長